



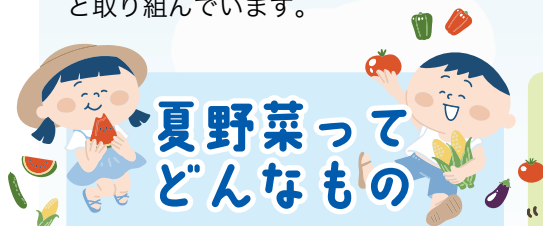
食と農を楽しく学ぶ ちゃぐりんフェスタ開催

8月8日、小学校の夏休みを利用して呉市広のJA呉アグリセンターで「ちゃぐりんフェスタ」を開催し、呉市内の小学生ら13人とその保護者が参加しました。

JAは家の光協会の子ども向け雑誌『ちゃぐりん』を活用し、子どもたちに食と農に興味を持ってもらおうと取り組んでいます。



楽しいちゃぐりんフェスタになりました



夏野菜って どんなもの

『ちゃぐりん』についての紹介をしたあと、呉地域営農販売課の営農指導員がクイズを交えながら夏野菜についての説明を行いました。



ちゃぐりんの紹介



クイズを交えて楽しく学ぼう

洗濯のりとほう砂で作るスライム 「スライムづくり」



「JA サテライトプラス」の動画やキットを活用し、洗濯のりとほう砂を主原料にスライム作りを行いました。絵の具で色を付けた洗濯のりに水に溶かしたほう砂を少しずつ混ぜ合わせると次第にまとまってスライムになります。最後に重曹を表面にまぶして出来上がりです。



洗濯のりでスライム作り



絵の具で着色



スライム



伸びるスライム



こっちもビヨーン



JA 女性部特製カレーを堪能

お昼ご飯には、JA 女性部呉地区本部広支部広北グループ特製カレーをいただきました。参加者にも大好評でした。



お昼は女性部特製カレー



みんなで美味しくいただきました



カレーをぱくつ



なるほど え〜のう! 営農情報

落葉果樹

■イチジク

▽礼肥の施用

樹勢の回復と貯蔵養分を蓄積させる目的に施用します。

施用するタイミングは収穫が7〜8割終了した時点となります。

ただし、樹勢の強い若木などは控えめに施用します。

▽病害虫防除

園内に腐敗した果実を放置していると、それが病害虫の感染源となります。可能な限り腐敗果などは園外に持ち出して処分することを心がけましょう。

▽台風対策

葉の大きいイチジクは他の果樹に比べ台風被害を受けやすく、強風により、倒木や枝折れ、そして果実は風スレなどによる傷果がでやすくなります。

対策としては、支柱などで樹を固定し補強することです。
日頃から風の当たりやすい園地で栽培している場合は、防風網を設置するなどの対策が必要です。

■カキ

▽汚染果対策

果実が成熟するに従い、皮の一部が黒変するものを「汚染果」といいます。

特に西条柿や太秋で多く発生します。

主な原因は、園内が過湿状態や急激な土壌水分の変化などです。

日頃から園内の除草を徹底し、枝が過繁茂とならないよう通気性を良くし、果実が乾きやすい環境を作りましょう。

▽早期落葉対策

早期落葉は翌年の生育のための貯蔵養分量や果実の発育に悪影響を及ぼします。早期落葉の原因は、主に台風による落葉病、うどんこ病などの病害があげられます。支柱への誘引や防除等で対策を行いましょう。

■モモ

▽礼肥と土壌改良

8月下旬〜9月中旬に肥料を施用しましょう。

また、秋根が発生する前の9〜10月にスコップなどで断根し、完熟たい肥（こだわり健肥など）や土壌改良剤の施用を行います。

▽秋季せん定

この時期のせん定の目的は、①樹勢を落ち着かせる、②骨格の形成、③葉芽や枝の充実となります。
樹冠内部から徒長している枝やかぶさり枝、勢いの強い枝などを取り除きます。

除く程度は、冬のせん定量の約2割程度までにとどめます。

枝の伸長の心配がなくなる9月から実施しましょう。

■キウイフルーツ

▽棚面管理

棚面が暗くなると糖度が低くなり、貯蔵性が低下するため、明るさを保つように心掛けましょう。明るさの程度は、棚下へ木漏れ日がさす程度です。

▽かん水

乾燥が続く場合は、葉が傷み落葉することがあります。
引き続き、適度な土壌水分を保ちましょう。

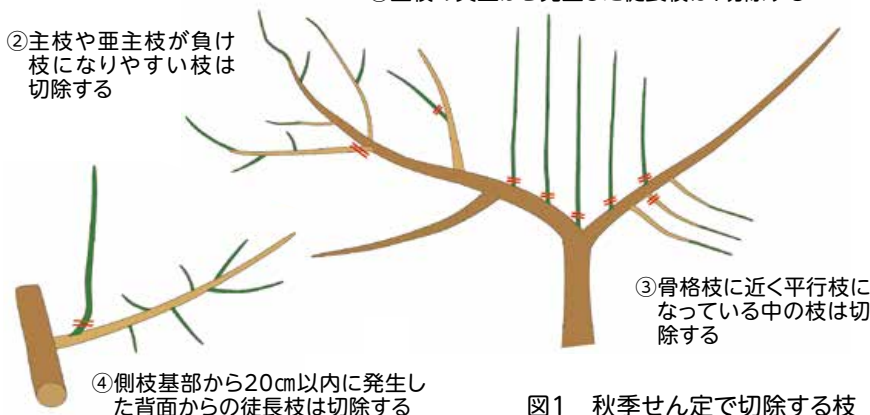
■スモモ

収穫も終了し、収穫後の管理が中心となります。

▽秋季せん定

9月中旬までに行います。下がってしまった主枝のつり上げや支柱立て、混みあっている部分の間引きや徒長枝の整理を行います。（図1参照）

①主枝の真上から発生した徒長枝は、切除する



③骨格枝に近く平行枝になっている中の枝は切除する

④側枝基部から20cm以内に発生した背面からの徒長枝は切除する

図1 秋季せん定で切除する枝

■一言

落葉果樹は秋になると、葉で作った養分を枝や根に貯蔵し、冬支度の準備に入ります。
効率よく貯蔵を促すためにも、適度な葉数の調整や肥料の施用、かん水などが重要となります。
作業が遅れないように気を付けましょう。

家庭菜園

●9月に植えるおすすめの野菜

・ジャガイモ

〈植え付け〉

ジャガイモは、ナスやトマトと同じナス科に属し、連作すると土壌潜伏菌により病気が発生しやすくなることから、なるべくナス科(トマト・ナス・ピーマン等)が3年以上栽培されていない場所を選びましょう。また、ジャガイモは弱酸性土壌(pH5.0～6.0)を好み、アルカリ性土壌では芋の表皮がざらざらになる「さとうか病」の発生が助長されます。作付け毎にほとんどの野菜では石灰を施してpH調整を行います。ジャガイモ植え付け前の土づくりでは石灰資材の量に気を付けて植え付け準備を行います。

秋作は植え付け時まだ暑いいため、種イモが腐りやすく、病気の発生する可能性もあります。近年温暖化が進み9月初旬も猛暑日が続いているため、気候が落ち着く9月中下旬頃に植え付けていきましょ。

品種ごとに微妙に変わりますが、株間25～30cmで深さは15cmが基本です。

〈種イモの準備〉

春ジャガイモ栽培では、種イモが大きい場合に切って植え付けますが、秋ジャガイモは種イモを極力切らない

ようにしましょ。秋ジャガイモの植え付け時期は、まだ気温が高いため、切って植え付けると、種イモの断面から傷みやすくなってしまう。もし、種イモが大きく、切断して使用する場合は50g以上で各片に芽がつくように頂部を中心に切断し、風通しのよい場所で切り口を十分に乾燥させてから植え付けましょ。また、切り口に「じゃがいもシリカ」をつけると腐敗防止になります。

植え付ける2～3週間前に種イモを涼しく風通しの良い日陰などに置いて、芽だしを行いましょ。

〈水やり〉

ジャガイモは乾燥に強く、あまり多くの水分を欲しがりません。種イモの中には、すでに水分が含まれているため、植え付け後も水やりをしなくても、自然に任せるだけで芽が出てきます。

・ダイコン

〈植え付け〉

まっすぐなダイコンをつくるには、十分な深さに耕された土(深さ30～50cm)と肥沃で排水性、保水性が両立できる地力のある土づくりが必要です。

堆肥(2kg/m²)・石灰資材(苦土石灰で100～150g/m²)を播種2週間前に、肥料は1週間前には施用し、しっかりと混ぜておきましょ。この時、雑草や前作の残渣、石などはすべて取り除きます。

元肥とする肥料分の目安は1mあたり窒素分10～20g(8～8ー8で120～250g)です。種まきは、1つの穴(ビールびんなどの底を押しつけて深さ1.5cmほどにした穴)に5～6粒をバラ撒きし、1cm程度の土をかけ軽く押さえます。発芽するまでは、土が乾燥しないように水やりをしましょ。株間は25～30cm、畝幅60～70cmが良いでしょう。

〈間引きと追肥〉

適期に撒けば2～3日で発芽します。1回目の間引きは子葉が完全に開いた時、形のよいものを残して3本立ちにし、2回目は本葉2～3枚の時に生育が中くらいのもをを残して2本立ちにします。3回目は本葉6～7枚の時、元気のよいものを残して1本立ちにします。

追肥は、2回目と3回目の間引きの後に1mあたり50g(8ー8ー8)をばらまきし、土と混ぜながら株元に土寄せしましょ。

●9月の野菜栽培の注意点

①害虫対策をする

9月は害虫の被害が減ってきますが、まだまだ活動する時期です。特にアブラムシは他の病気の感染源にもなるため早めの防除を行いましょ。また、アブラナ科の野菜を育てる場合は、オオタバコガやヨトウムシなど大型チョウ目害虫の被害を受けやすいため、防虫ネットをかけるなどの対策をしましょ。

植え付け時に土壌に混和する農薬(オルトラン粒剤、ダントツ粒剤、ダイアジノン粒剤など)を使用するなど早めの防除を心がけましょ。

②台風対策をする

9～10月ごろは、秋雨前線による長雨や台風が発生することが予測されます。雨が長く降り続けると、土中が常に湿って病気の発生や、害虫被害も多くなります。また、暴風被害によって茎が折れてしまったり、飛ばされてしまう事もありますので天気予報をチェックして、事前に大雨と強風の対策を立て、予防しましょ。

●溝切り

大雨が予想される場合は、排水溝を整備して通路の端を溝切りして排水を心掛けましょ。

●べた掛け・トンネルがけ・土寄せ

種まき直後や育苗中の苗、草丈の低い作物は、不織布で「べた掛け」をしたり、寒冷紗やビニールで「トンネルがけ」をして野菜が倒れたり、吹き飛ばされないように裾をしつかりと埋め込み管理をしましょ。また、ネギ類など草姿の細い野菜は「土寄せ」を行って揺れを減らしましょ。

●果菜類の支柱の補強・固定

支柱は強風にあおられても倒れない太さのものを選り、誘引ひもが緩んでないか、結束が不十分なところがないかを確認しておきましょ。また単独で支柱を立てるのではなく、隣の株の支柱と横向きにして支柱どうしをつなげると更に強度が増して倒れにくくなります。

県立呉商業高校インターンシップ

JA呉地域は7月28〜30日までの3日間、県立呉商業高校情報ビジネス科2年生2人のインターンシップ(職業体験)を受け入れました。同校は生徒に働くこと、生きることの尊さを実感し、勤労観・職業観を育成するために毎年インターンシップを行っています。

就業体験では、同JAの事業内容についての説明を受け、その後呉支店、呉地域総務管理課、同信用共済課、ふれあい市呉店で窓口業務や野菜の荷受、商品ポップ作りなどを行いました。参加した石井実里杏さんと北山知優さんは「普段は体験できない貴重な体験を

させてもらった。初めてのことがばかりでわからないことも多かったが、優しく丁寧な指導で安心して実習することができた」と話しました。



▲野菜を並べる石井さん(奥)と北山さん(手前)

JA役職員野球大会 呉地域 惜しくも1回戦敗退

JA呉地域野球チームは7月11日、千代田運動公園で行われた「第50回広島県JA役職員野球大会」に参加しました。1回戦ではJA全農ひろしまチームと対戦。試合の序盤で3点を失いますが、3回には角田選手、吉田選手のタイムリーヒットで2点を返しました。その後は両者得点を挙げる事が出来ず試合終了。呉地域チームは2対3と1回戦敗退となりました。高田選手兼監督は「30℃を超える暑い中応援ありがとうございました。来年も頑張りますので、引き続き応援をお願いします」と話しました。



▲ホームクロスプレー 惜しくも同点ならず

令和7年度の各事業部門において、優秀な実績を収めた職員が表彰を受けました。
受賞した職員は下記のとおりです。(敬称略)

● JA 共済優績ライフアドバイザー全国表彰

所属	氏名
音戸支店	平 遼太郎
中町支店	岡田 健瑠

● JA 共済優績ライフアドバイザー県表彰

所属	氏名
広東支店	村上 奎太
中町支店	岡田 健瑠
呉支店	石井 大貴
呉支店	牧 正純
広東支店	網谷 崇宏
昭和支店	木村 太耀

● JA 共済優績スマイルサポーター県表彰

所属	氏名
郷原支店	豊原 葵
大古支店	川岡 昌代
音戸支店	中谷 百香
倉橋東支店	岩崎 直美
倉橋支店	中野 亜紀子

● JA バンク優績投信担当者表彰

所属	氏名
中町支店	東脇 理道

● JA バンク優績住宅関連会社営業担当者表彰

所属	氏名
呉ローンセンター	高田 大輔

※所属は令和8年度時点